



島根縣知事正五位勳四等丸山重俊

敘勳ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

明治四十三年一月三十一日

内閣總理大臣侯爵桂太郎

内閣

四

賞勳局告示第二〇號
明治三十三年一月廿八日
賞勳局總裁

明治三十三年一月廿八日

為

内閣總理大臣 大 賞勳局總裁



島根縣知事正五位勳四等丸山重俊敘
勳ノ件別紙ノ通議定候條此段允裁
ヲ仰ク

内閣

明治三十九年一月十八日

賞勳局總裁

書記官

議定官

否

可

島根縣知事正五位勳四等丸山重俊

岩倉

藤田

藤田

藤田

叙勳議案

島根縣知事正五位勳四等丸山重俊

右者明治三十九年六月韓國宮中肅清實

施ニ際シ常ニ機宜ノ措置ヲ施シ着々當

賞勳局

初ノ目的ヲ達シ就中同四十年七月日韓協

約締結ニ際シテハ統監府參與官トシテ

諸般ノ政務ニ鞅掌シタル等功績アル旨

ヲ以テ叙勳ノ件内務大臣及統監之ヲ上

奏セリ依テ審按スルニ其功績顯著ナリト

認ム乃チ勳等ヲ擬議スル左ノ如シ

叙勳三等授旭日中綬章

作記

勲三等旭日中綬章 島根縣知事正五位勲四等丸山重俊
右者明治三十八年警視廳奉職中韓國政府招聘之應
之指拮勵精同國警察制度之創始明治三十年
八月以後同四十一年八月解備至之警視廳總監
トミテ首都警察事務管理ニ就中明治三十八
年十月及同四十年七月日韓協約訂結ノ際ハ京城
ノ治安ヲ維持スルニ當リ與リテ頗ル力アリ又明治三十九
年六月宮中肅清實施以來常ニ機宜ノ措置ヲ施
シテ謀ラス着々當初ノ目的ヲ貫徹スルヲ得タリ加之明

内務省

治四十年暴徒蜂起以來部下ヲ指揮シテ之カ鎮壓ニ
努力トシ其功績洵ニ顯著タルヲ認ム仍テ特ニ
頭書、勲等、敘々ニ度謹テ奏ス

明治四十二年六月一日

内務大臣清學博士男爵平田東助



位勲爵
博士

氏名
丸山重俊

府縣族籍 熊本縣士族

舊藩 熊本 舊氏名

生年月日 安政二年十月廿五日

産地 肥後國熊本

原籍

一平

現任

任 免賞罰事故

官衙

明治十年一月廿九日

補司法省十七等出仕

司法省

九月十九日

大阪裁判所在勤申付候事

令

十一年四月廿七日

九州地方騷擾、際盡力候府為其賞金拾五圓下賜候事

賞勲局

十二年二月廿八日

依願免出仕

司法省

令

滿二年勤績、府金六圓下賜候事

令

三月廿六日

任北區書記 十六等相當

大阪府

十月十日

任大阪府八等警部

令

十三年八月十日

徳島縣ニ於テ御用有之候条出向申付候事

令

履歷用紙

内務

省

十三年八月十六日

任徳島縣八等警部

徳島縣

令

警察本署檢察部申付候事

令

十月廿八日

任徳島縣七等警部

令

令

檢察部長心得申付候事

令

十四年二月十四日

本務ヲ以テ高裁判所徳島支廳詰申付候事

令

七月三日

政事ニ關スル結社取調委員申付候事

令

十月廿六日

警部等叙被廢

令

十五年一月十六日

任徳島縣警部

令

三月廿四日

廣造張幣取調委員申付候事

令

七月十一日

月俸參拾圓下賜候事

令

十月一日

任檢事

司法省

令

月俸參拾圓下賜候事

令

令

月俸參拾圓下賜候事

司法省

令

徳島始審裁判所詰ラ余ニ候事

令

令

徳島始審裁判所詰ラ余ニ候事

令

めくれず

十六年八月廿日	熊本縣ニ採用致度旨照會有之旨詠縣(出頭可有之候也)	令	熊本縣
九月三日	任熊本縣警部	令	熊本縣
但月俸參拾五圓			
令	警察本署詰申付候事	令	
十月八日	警察本署司法部長申付候事	令	
十月廿六日	國事警察委員申付候事	令	
令	賈造紙幣取調委員申付候事	令	
十七年八月十九日	依願免本官 (諭旨)	令	
十月十日	任茨城縣警部	令	茨城縣
月俸參拾五圓下賜候事			
令	警察本署第二部長申付候事	令	
十月廿四日	自今月俸四拾圓下賜候事	令	
令	縣會御用係申付候事	令	
十八年一月六日	履歷用紙	令	
十八年十月十日	兼任四等屬	令	茨城縣
令	總務課審按係申付候事	令	
十九年一月七日	國事並賈造紙幣探偵委員申付候事	令	
二月廿七日	御用有之愛知縣(出向申付候事)	令	
三月八日	任愛知縣警部	令	愛知縣
月俸四拾五圓下賜候事			
三月十八日	第二部長申付候事	令	
三月廿五日	監督部長申付候事	令	
七月十三日	地方官制改正(俸給令改正)	令	
八月二日	叙判任官一等	令	
八月十三日	警察本部監督部長ヲ命ス	令	
十月廿日	御巡幸御用係ヲ命ス	令	
十月廿四日	警部補登用試験委員ヲ命ス	令	
十月廿四日	任檢事	令	内閣 總理大臣宣

	一月十日	一級俸下賜 (年俸三千四百圓)	内務省
	二月十日	韓國政府、聘用ニ應ズル件許可 韓國政府、俸給受領、件在職者ニ関スル規定適用ノ件 上裁ヲ經タリ	
	廿九年四月一日	明治廿七八年事件ノ功ニ依リ勲四等旭日小 綬章及金貳千圓ヲ賜フ	賞勲局
	四月十日	官制改正	
	九月十日	任統監府警視	内閣
	今日	叙高等官三等	
	今日	一級俸下賜	統監府
隆慶元年	八月二日	任警視總監	韓國政府
		叙勅任官二等	
明治廿九年	九月廿日	任統監府參與官	内閣
		叙高等官二等	
履歷用紙			
	今日	三級俸下賜	統監府
四十年	十月五日	京城、韓人町ニ於ケル防疫委員長ヲ命ス	内閣
	十月十日	叙正五位	宮内省
四十年	二月七日	特叙勲一等賜八卦章	韓國賞勲院
	八月廿七日	任島根縣知事	内閣
		叙高等官二等	
	今日	三級俸下賜 (年俸三千四百圓)	内務省
四十二年	四月六日	明治四十二年勅令第四十三號ノ旨ニ依リ皇太子渡韓記念 章ヲ授与セラル	賞勲局

内閣参事 紀第 二〇七 號
記官室 甲第三二九 號

別紙 丸山重俊 致勲 ノ件
上奏書進達ス
明治四十二年 六月一日

内務大臣法學博士男爵平田東助



内閣總理大臣侯爵桂 太郎殿

内務省

四十二年六月二日接字

裏面白紙

勲三等旭日中綬章島根縣知事正五位勲四等丸山重俊

右ハ明治三十九年六月韓國宮中肅清實
施ノ際ニ方リ警務顧問トシテ常ニ機
宜ノ措置ヲ施シ着々當初ノ目的ヲ
達シ同四十年七月日韓協約締結ノ
當時人心動搖ノ際ハ警視總監トシテ
日夜奮勵克々首都京城ノ治安維持
ニ努メ一面又統監府參與官トシテ
諸般ノ政務ニ鞅掌シ且同年暴徒

統監府

蜂起以來部下ヲ督勵シテ之ヲ鎮壓ニ
盡瘁シ恪勤精勵其功績顯著ノモノ
ニ有之候處客年八月現官ニ任セラレ
候ニ就テハ前記勤勞ヲ御表彰被遊
此際特ニ頭書ノ通リ叙勲被仰出候
様仕度此致謹テ奏ス

明治四十二年十二月廿八日

統監子爵曾福荒助



從五位勳四等

丸山重俊

名氏爵

東京府士族

安政元年十一月廿五日

熊本藩

肥後國熊本市高田原

東京府南豊島郡大久保村大字西大久保百九十六番地

位勳	從五位勳四等
名氏爵	丸山重俊
府縣族	東京府士族
現住	熊本藩
年	安政元年十一月廿五日
現住	肥後國熊本市高田原
年	東京府南豊島郡大久保村大字西大久保百九十六番地

明治十年一月十九日補司法省十七等出仕

司法省

五月三十日臨時御用有之九州出張申付候事

全

九月十九日大阪地方裁判所任勤申付候事

全

全十一年四月二十七日九州地方騷擾際盡力候付為其賞

金拾五圓下賜候事

賞勳局

全十二年二月二十日依願免出仕

司法省

明治十二年三月廿八日滿二年勤績候付金六圓下賜候事

司法省

三月廿八日任北區書記十六等相當

大阪府

十月十日任大阪府八等警部

全

全十三年八月十六日任德島縣八等警部

德島縣

全日警察本署檢察部詰申付候事

全

全日任德島縣七等警部

全

全日檢察部長心得申付候事

全

全十四年二月十四日本務ヲ以テ高知裁判所德島支廳詰

申付候事

全

七月三日政治ニ関スル結社取調委員申付候事

全

十二月廿八日府縣警部等級改正

全十五年一月四日任德島縣警部

全

一月十六日任德島縣警部

全

全 日月俸貳拾五圓下賜候事

三月廿四日 贋造紙幣取調委員申付候事

七月十一日 月俸三十圓下賜候事

十二月一日 任檢事補

全 日月俸三十圓下賜候事

全 日 德島始審裁判所詰ヲ命シ候事

全 十六年 九月三日 任熊本縣警部 但月俸三十五圓

全 日 警察本署詰申付候事

十月八日 警察本署司法部長申付候事

十月廿八日 國事警察委員申付候事

全 日 贋造紙幣取調委員申付候事

全 十七年 八月十九日 依願免本官

十月十三日 任茨城縣警部

統 監 府

明治十七年 十月十三日 月俸三十五圓下賜候事

全 日 警察本署第二部長申付候事

十月廿八日 明治十五年九月十三日全十四日 警部大野勝

次郎ト共ニ巡查工藤英二外五名ヲ指揮シ

紙幣偽造ノ豫備ヲ為セル罪犯福田德

藏外二名ヲ逮捕候ニ付為其賞金參圓

下賜候事

全 十月廿四日 自今月俸四拾圓下賜候事

全 十八年 一月六日 縣會御用掛申付候事

九月廿九日 第一區警察聯合會々負トシテ静岡縣

ハ出張ヲ命候事

十一月十日 兼任四等屬

全 日 總務課審案係申付候事

三月廿四日 事務格別勉勵ニ付慰勞手當トシテ金

八田下賜候事

全

全十九年一月七日 國事竝實造紙幣探偵委員申付候

事

全

三月八日 任愛知縣警部

愛知縣

全 日月俸金四拾五圓下賜候事

全

三月十八日 第二部長申付候事

全

三月廿九日 監督部長申付候事

全

六月九日 帛列刺病流行ニ付檢疫本部委員申

付候事

全

七月十二日 地方官官等俸給令發布

八月二日 叙判任官一等

全

八月十二日 警察本部監督課長ヲ命ス

全

統 監 府

明治十九年十月八日 檢疫本部委員ヲ免ス

愛知縣

十二月七日 本縣虎列刺病流行ノ際檢疫事務格別

勉勵ニ付為慰勞金拾五圓ヲ給ス

全

全 日御巡行御用掛ヲ命ス

全

全 二十年四月十二日 警部補登用試験委員ヲ命ス

九月十七日 名古屋道路修繕費(金七圓)貳拾錢寄付候

段奇特ニ候事

全

十二月廿四日 任檢事

内 閣

全 日叙奏任官六等

全

全 日上級俸下賜

司 法 省

全 日熟田治安裁判所詰ヲ命ス

全

全 二十二年^{八月}十月 東京始審裁判所詰ヲ命ス

全 二十三年五月二十九日 任岐阜縣警部長

内務大臣

全 日 叙奏任官六等
同
内務省

全 日 上級俸下賜
岐阜縣

全 二十四年 六月十八日 陞叙奏任官五等
内閣

七月廿四日 地方官々々制俸給令改正
八月十六日 官等廢止

全 二十五年 三月十九日 叙正七位
宮内省

七月廿七日 任石川縣警部部長
内閣

全 二十五年 十月五日 文官普通試験委員ヲ命ス
石川縣

十月十二日 高等官々々俸給令ニ依リ高等官六等
石川縣

明治廿六年 十月三十日 陞叙高等官五等
内閣

十一月九日 警察部所管事務參與員ヲ命ス
石川縣

十一月廿日 免本官
内閣

明治三十年 一月十二日前ニ於テ懲戒又ハ懲罰ニ依リ免
官免職セラレタル者並ニ停職ヲ命セラレタル者ハ其懲
戒懲罰ヲ免除ス(三十年勅令第十四号)

全 廿九年 四月一日 任熊本縣玉名郡長
内閣

全 日 叙高等官六等
熊本縣

全 日 出納官吏被仰付 但現金前渡事務擔當
熊本縣

全 日 地方税ニ関スル熊本縣出納吏ヲ命ス
内閣

全 三十年 三月二日 任千葉縣警部部長
内閣

全 日 叙高等官六等
千葉縣

四月十四日 文官普通試験委員ヲ命ス
千葉縣

統 監 府

十一月六日 府縣制第廿條ニ依リ本月十七日より開會

スル臨時縣會ノ議事ニ參與スルコトヲ命ス 全

全月廿日 府縣制第廿條ニ依リ本月廿五日ヨリ開會

スル通縣會ノ議事ニ參與スルコトヲ命ス 全

十二月廿三日 明治廿八年勅令第七十一号ニ依リ為手當金

五拾山下賜 全

全三十二年四月十八日 陞叙高等官五等

六月十日 叙従六位 内閣

六月廿八日 叙勲六等 瑞寶章 賞勲局

七月三十日 非職ヲ命ス 内務省

九月六日 依願免本官(諭旨) 内閣

十二月八日 任大分縣書記官 全

全 日 叙高等官五等 全

統監府

明治三十二年十二月十四日 大分地方森林會議員ニ選定ス 農商務省

十二月廿一日 府縣制第三十九條ニ依リ大分縣參事會

員ヲ命ス 内務省

全 日 株式會社大分縣農工銀行監理官ヲ命ス 大藏省

全 三十二年一月十日 官報々告主任ヲ命ス 大分縣

全 日 文官普通試驗委員長ヲ命ス 全

全 日 官國幣社神職尋常試驗委員長ヲ命ス 全

全 日 陸軍召集事務委員長ヲ命ス 全

一月廿五日 御用有之小倉へ出張ヲ命ス 全

三月八日 御用有之鹿兒島へ出張ヲ命ス 全

三月廿七日 御用有之北方衛戍へ出張ヲ命ス 全

五月二日 御用有之熊本縣へ出張ヲ命ス 全

五月五日 文官普通懲戒委員ヲ命ス 全

六月六日	御用有之上京ヲ命ス	全
十月十六日	中學校及病院調査委員長ヲ命ス	全
十月廿日	職務勉勵ニ付金百五十圓賞與	全
全三十三年二月十五日	御用有之大阪府へ出張ヲ命ス	全
四月一日	地方官俸給令改正	全
全	日三級俸下賜	内務省
五月廿四日	御用有之廣島縣福岡縣へ出張ヲ命ス	大分縣
六月二日	大分縣諸規程調査委員長ヲ命ス	全
八月廿一日	御用有之上京ヲ命ス	全
九月十日	陞叙高等官四等	内閣
十月廿七日	任長崎縣警部長	全
全	日叙高等官四等	全
全	日一級俸下賜	内務省
純 監 府		
明治三十三年十一月七日	文官普通試験委員ヲ命ス	長崎縣
全	日文官普通懲戒委員ヲ命ス	全
全	日臨時嚴原海港檢疫官長ヲ命ス	全
十月十七日	前任事務引継ノ為メ大分縣へ出張ヲ命ス	全
十二月廿五日	叙正六位	宮内省
十二月廿八日	明治三十三年中職務勉勵殊ニ清國事變ニ 關シ勤勞不尠ニ付為賞金五十圓給與ス	長崎縣
全三十四年一月九日	檢疫委員長ヲ命ス	全
五月十四日	御用有之上京ヲ命ス	全
五月廿三日	檢疫委員長ヲ免ス	全
六月十三日	産婆試験委員長ヲ命ス	全
七月一日	畜牛結核病検査委員長ヲ命ス	全
九月十六日	御用有之上京ヲ命ス	全

統 監 府

十月十四日 臨時縣會議事ニ参與スルコトヲ命ス 全
 十月廿九日 通常縣會議事ニ参與スルコトヲ命ス 全
 十二月廿八日 明治三十四年中特別勤勞ヲ賞シ金百貳拾圓
 給與ス 全

全三十五年 四月十五日 御用有之佐賀福岡熊本三縣へ出張ヲ命ス 全
 四月廿五日 御用有之上京ヲ命ス 全
 十月六日 虎列刺病豫防救治ニ従事セシニ依リ手當
 金百五拾圓給與ス 全

十月九日 任警視 内閣
 全 日 叙高等官三等 全
 全 日 三級俸下賜 内務省
 全 日 補第一部長兼消防署長 全
 十月十六日 文官普通試験委員ヲ命ス 警視廳

明治三十五年 十月十六日 文官普通懲戒委員ヲ命ス 警視廳
 十二月廿四日 叙從五位 宮内省
 十二月廿八日 長崎縣警部部長在官中明治三十三年清
 國事変ニ於ケル功ニ依リ金百三十圓ヲ賜フ 賞勲局

全三十六年 五月七日 露西亞國皇帝陛下ヨリ贈與シタル神聖
 「アンナ」第三等勲章ヲ受領シ及ニ佩用
 スルヲ允許ス 全
 六月六日 兵庫縣和歌山縣へ出張ヲ命ス 警視廳
 六月廿六日 叙勲五等授瑞寶章 賞勲局
 八月十日 大阪府長崎縣廣島縣愛媛縣へ出張
 ヲ命ス 警視廳

全三十八年 一月七日 御用有之韓國へ被差遣 内閣
 十月廿七日 群馬縣へ出張ヲ命ス 全
 全三十八年 一月七日 御用有之韓國へ被差遣 内閣

全	全月十一日	一級俸下賜	内務省
	二月十日	本年二月十日付願韓國政府ノ聘用ニ應スル件許可ス	
		同國政府ヨリ俸給受領ノ件上奏裁可ヲ經タリ	内務大臣
全	日	韓國政府聘用中ハ在職者ニ關スル規程ヲ適用相成候ニ付其旨心得ラルヘシ	
全	三十九年四月一日	明治三十七八年事件ノ功ニ依リ勲四等旭日章及金貳千圓ヲ授ケ賜フ	賞勲局
	九月十日	任統監府警視	内閣
		叙高等官三等	全
		一級俸下賜	
隆熙元年	八月二日	任警視總監叙勅任官二等	韓國政府
			統監府
明治四十年	九月廿日	任統監府參與官	内閣
		全日叙高等官二等	全
		全日三級俸下賜	全
	十月五日	京城韓人町ニ於ケル防疫委員長ヲ命ス	
	十二月十日	叙正五位	
全	四十二年	二月七日	特叙勲一等八卦章
		八月廿七日	依願免本官
		全日	任島根縣知事
			叙高等官二等
全	四十二年	四月十八日	明治四十二年勅令第四十二號ノ旨ニ依リ皇太子殿下渡韓紀念章ヲ授與セラル

卷一

機密 二二四五号

西十二年一月六日發

島根縣知事丸山重俊殿
、件別紙上奏書進達
明治四十二年十二月廿八日

統共子青曾福是耶

内務總理大臣侯青桂太郎殿

統監府